全館は午前八時より第二回正式館「開京十三日同盟」十三日の二中

抗日穀崎策(蕭佛成氏その他

版を開き新介石氏以下各委員出版

御殿の件(所和佐、孫朴、王間)、西南朝行即及西南政形委員會

中全會々議 西南執行部の廢止

三日附を以て内閣から左の如くれに伴ふ内閣副兵局参奥の加元は 特局次長曲に各省次官建途その他。【東京出話】 資源局長官、駐禪事 粉を成長末哲元氏と動見した主党、総常規郷に對しては允づ北支より「天津十三日同盟」ででに筑紫戦」ると共に自己の決意を接続、日支

たものとして非常な期待を以て見られてゐる(劉興は王嘉俶氏)

観の町即能戦後といふべく北支政権はこれを以て流く修道に乗り且支の具能節環境に本税が沿一步を開み出歴及び上海各館との戦撃を考慮し他方月本前との反好的観察機能職立に努力するもので北支欧

策、潘爾和氏等と外一名を以つて組織し北支事態に善遠するため一方に於て南京政策・潘爾和氏等と外一名を以つて組織し北支事態に善遠に当時間、開作風、奏徳朝、曹政

の承認を經て即時實行に移す(一)門投降氏と湯願和氏を

【ワシントン十三日同盟】 アメリ

他軍省常局は大学洋上の新情勢

竹田宮殿下

素力團制壓に

八月御來鮮

經濟開發に全力傾倒

視察の結果日本側の支持の下に北一つて北支部が、財政、金融の安定

9るに至り王京殿氏は本日府 | その殿腕を掘ふこととなつた 明起に全力を傾倒する決局|朧定、産業別建交通網の購充等に 主党威氏は北支の政情を詳細 出車司令官と再進館見を遂げ

提げて愈い本月中に再び北上し関 総所提携に對しては先づ北支より

楽宗仁氏を以西録晴主任に白

調査局參與

岩手するとの大計の下に具備器を

于十六呎、幅白六十五呎超額製で

入札を明館した、ドックの長さは

你局長は第二天線力觀情器に騙しれた刑事態長頭罐において荒垣警 重要指示を行ひ今後の不當威力類一場の訓示をなすと共に左の如き

防取締に高遺憾なきを唱すること

萱場警保局長訓

面的に一旁にこれを度施してる。桑力行為等の取締は昨年以降全、示事項

するこの種の者は

暴力行信等の取締に翻する指

を入れ得る一大浮記ドックを設置 を入れ得る一大浮記ドックを設置

日野山ハワイ民味勝川高を仙化振

栄鮮遊ばされる御像定である

北平十三日同盟】王克配氏の北支索り出し決意により放祭政権の強化と共に南京政府脈に日本側との特殊關係調整による

まづ常務委員會復活

明朗北支田現は王氏が今月末に北上するを機関に庶よ質質的に贈得されるととなった王氏は企平三日間栄誓

眞珠灣頭に

樹原田路、先づ原田資相より更

意識に明確、歴田育相以下

大浮ドツク

太平洋岸の

元氏と数回に亘り重要的該を選げ解点なる。原見交換を行つた其結果或疑惑が委員的を擴大して

名買共に北支張高統副機関たらしめるに意見一致し左の如く決意を儲めるに至った

(一)パ祭政務委員會に常務委員を復活す(

朗北支の建設に

売敏氏愈よ乘出す

國祭日は十四日午前十時半から記

フランス國祭 フランス

案の御で歳しを行って十七日の定例配鑑に附案の何で歳しを行って十七日の定例配鑑に記述所配条通常は来る十五日御府本館誌に上述説所配条通常は来る十五日御府本館誌に出する道大築金融令 調整緊急刺令 八日公布され

は開日より旅力を選生することしたった

朝鮮にわたる疑惑及び該合事性にと述べ次いで探法相より内地域に 一、時間に敦上木革業に題するも一、各種の補助金に関するもの一、間質に即する読合事件

嫹田首相か

順門の

豫算施行に注意を

容を詳細に説明しこれに騒波で などにつき融合式の不正敗引が行

等でお間に名誉の可似をした、 | 申さうと、 佛の御加遊はあるもの

定例局長會議

総督、総監・列席、先づ棟居弘母

人に達する統況張りを示したの人場者は質に十二萬三千三百の人場者は質に十二萬三千三百間を勝工映職館で開催し十三日間

「東京に新り廿五日京 田忠次氏は十五日山城信局技・本府別任



來訪 (慰護井上清氏) 辿官接援のため十四日本社

世の中になったわい、フランス の人民戦線が政然お隣の中国へ さても窓の荒い言葉のはでる 天地玄黄

朝越しました、ワン等夫婦は共 れて、道の草も枯れるかと思ふっ つい身の不逃が、涙をさそつて

は小學の一年報節へ突入しまし よだねの男の子が、やつと、笑つ

凡子頭みしめると味の出る るた修設者が、病温ならわしにき 微かなる光のやう 題に、ふと病みついてしまつた。

)年完成を目標に着手の報 南支那海制覇 根據地の完成は特に急がれ、シンガポール、根據地の完成は特に急がれ、シンガポール。然底に和殿歌所との国に交されてあると既へられ、耐して空 ンコック、香港間の航空路は近く開設の運びに

東陸海空軍の一大根據地の建設に着手したと東洋のジプラルタルミいはれる香港に英國極 電影版の過胞に鑑み、一九四○中度完成を目標に [鬼景出語] 某方面への入電によれば、今回完國政府は極東俯然の の汪目を惹いてゐる、在はシン

は周知されてゐる譯ではゐる。別明した告示に依つて其の一般別明した告示に依つて其の一般

官吏は證票携帯

の携帯を必要としたのは間より

標石敷地は收用

○二月六日脳令第一號を以て朝鮮 並標規則の内容を強化するため去

て今後は世界共通の三角語化を

式で次の如く武式した

五日から實施

內務局長談 適用製園の擴張

は特に財富したきは朝鮮に於てするものにも及ぶのである。なかるものにも及ぶのである。な設なき場合は其の他の測量に翻に関するものは勿論別に規定の

立人つたり、測量標を設置し、従来は測量の為に他人の土地に 立入等に關して

2部局でこれに闘する施行規則を 一地回垣標令を戯布、その後本府

せられたのであつたが本令に於むられたのであつたが本令に於日たる測量標に関してのみに適用たる測量層に於て散遣しているに適用

豫め告示をなすら

里苦くは除却する等の行動を探測量益を能能し交は陰害物を懸測程官吏は他人の土地に立入り

ある、而して右牧用に依り生ずとなく直越領明に起理し得る続となく直越領明に起理し得る続

抗敷地に對して

タ刊六夏朝刊八夏

してあるのであ

来たので副旨が「お陰の方は」と 銀だから緊弱りに行く」と生込一がら、彼女を着はつて、着物の土 の軍骸壁技に寄ってすぐ邸って

など搬つてやつた。

ら参って 関くと「も

てあるがなし握りに弾んで来た。一葉主が意識ぎらひなら、御吹主のその時切削した耐興性が保管し、ちゃと……。なう、お言さん、御

多大の効果が癇したるが、道路の民衆生活の平前を確保するに

(辞酸士) 済州から

『あゝ、どうして、私はかう…』

同歌越を扱って、卒主は生活他してくる。步む足もとへ、暖かこは一心までその縦にまはされたやうに

ふと、彼女の哀暗な胸へもしをとなってゐる事がわかつた。

|を打ちこんで、寛兄の嫉姻を歌つ 年太郎の嘘をぬすんで、宮村の上||ので、如禮が嘘に、夫婦共に、君||ちに明マエン・ 微かなる光のやうに悪ひ初めた。その窓側の一撃がながれ込んで、 けれど、良人は、神佛を仇敵のや 中から連れる法語の整や 呈進瓶本見

治 (182)

夏

旗信

15

作 1

『お上人標も、いつか仰つしゃつ 和介も、他の潜も、ほつとしな ねえ寒ッぱもをいひ飾らして、底のも鬼をがった。 つらあ、神とか飾とか、ありもし のたわに、食ひ歩く山間だり

賈は嫂の鼬 功力が増すわけでもない。在家の 聖郷、手がつけられない人間にな来たんだよ 受して倒居になつたから、常郷の し顔裕かあれば、雲雯、女狂ひ、米たんだよ 壁して倒居になつたから、常郷の し顔裕かあれば、雲雯、女狂ひ、 要して僧侶になつたから、意解のからよいといふものちゃない、蒯 た。念飾の功力は、善へ來ていよ し館俗があれば、歴奕、女揺ひ、そして、仕事はろくにせず、すこ

離に事意特許の数法により機製さる程です「アモンバメヤ」は獨特を秘法

美をどんな方にも誇る事れてありますので必ず貴女の

が出來るのです……

の特異美は夏に膝るものなしと言はれの膝ちなものです、然し女の容姿とそ夏はどんながでも美に鉢して自信を失

火は西南草(深も心さへ、そこにあれば何段で」つた。 ないと思って、初めは素直にしてお古は、良人の深層を、無難も りはしい職人の世帯

バヤにお任かせ下

夏の美をアモンバ

臂

効

電影影校に真韻りは観だけだ | 鑑で耳にふれない振りで云ふたが | である。折にふれて何かいふと、 ふたが、元よりは~

高がたえなか

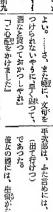
1111

Ħ

化粧下 に

吹出物・陽やけ ニキビ取りに

ヅバカス・シミ





・用魔霊魔ン

他数品店に有り金額デバート、初名祭団

+

菱豆

一個八十四

転がさめる日

0

しも、彼女は、心のうちに、斑と

る。 ――銀に来た報は、良人の平次 かりに記える。 ・― 銀に来た報は、良人の平次 かりに記える。 だれの男の子が、やつと、実つ は郷・近くの名村にある上人の確認となったが、よたれの男の子が、やつと、実つ は郷・近くの名村にある上人の確認となった。 よたれの人として、瞬はあるし、縦の生語を記さるると、瞬く眼になったれが、二人の仲にできた一つ は郷・近くの名村にある上人の確認となった。 よこれは、近の生語を記さるると、瞬く眼になった。 よこれは、近の生語を記さる。と、明く眼になって、一般にないる。 で それも外しい年月である。いちて それも外しい年月である。いち 直るどころか、敵よ荒んでゆくば

酵素の微量直達療法

醫學的に證明さ



· 既杉田 商 に対かないやの場合を配置

十六種目、女子五種目を發表

イフセンインク 娘三人家出

地人一萬三千人顏帥人上萬九千人 絕入縣人 医内脏内

毎世く閉鎖した。 鏡期中に於ける

し上三日午後九時学を最終とし事

稍の總質上高約二千個の好成器を 外國人一千三百人即數煙草館に事

戶上號之、古田康治、 大島雄吉、原田正夫、

目は十七日正式決定する設定であ

学征観でも対光信でもの三人はか京藩道安城都元谷面の徐定感でも

誘拐が?

わてから都に出て働きたいといっ

朝鮮同

胞號愼機

てゐたが、上三日午後三時京城に

願ひを出したが誘拐犯人があるの 向つたことが知れ、本町署に保護 るが、十三日盗取の結果大體次の

上代姿師エントリー末決定の五極

四百米西山村芳、今井殿二、

▲砌丸投 高田前雄、松野菜一郎▲酸面投 阿部功、松野菜一郎

平壤飛行隊總出

型、市原正雄、青地球槽男 ・ 市原正雄、青地球槽男 ▲四百米酸锅,市型土地、和田時 ◆走苏號,西田原子越 ▲走市路 朔殿裘郎、田岛直人、 ▲三千米蹬码 今井哲夫、田中男 奈良岡良二 西田修平、安達浦 孫基碩、鹽跑玉男、 近づくオリン 五種目内定 ▲音米 音崗陸郷、鈴木剛多、 ではないかとにらみ郷部中ではないかとにらみ郷部中ではないかとにらみ郷部で 絡船の航行は限職を極め、十四日十三日夜開発海峡は週窓のため連 その他の ピツク大會

2男子十六十八 女子五郎目のエ べきオリンピック大の陸上版校

原来。 二百米、四百米、 離走、 トリーを次の如く決定。トラッ

日度に協議秩定を見るこ

釜山沖

は参山世外に一時間十分立往生し 牛町大時半衛山人群像定の連絡船

下り列車遅れダイヤも聞る

金『のぞ文』能に奉天行第五列祖、國、平均二百七十回で總院買収拾いた。これが真師館と経路の参加、た、訴入成總は献置がが原外十七列祖は、十二頭のうち邪馬七駅房と記す内総京城行臨時急行第八十七列祖は、十二頭のうち邪馬七駅房と記す内に、これが真師館と経路の参加、十二頭のうち邪馬七駅房と記す内に、これが真師館と経路の参加、 行、ダイヤは遊乱した五分型おれて午後三時卅五分型お北 ことになり、『のぞみ』は定則よ「頭中飛馬十、駄馬十七計廿七頭を の州内分割れて毎山健原城には十 一名山を増結して旅客を収容する 一平均三百廿回蜀、總價桥八千六百 三十七百八十四、京城は百五十二 战。鱼三百八十周,战战二百八十四 勝入馬は九州一個を馬鹿地とした 四十五国で購入したが、これらの

種で京城に耐着の豫定である。 「政に撤猶を贈り無治陽二時間の航 で、江陵の上雲を旋回し岳

味な言葉で留守中の婦女子から金

が深刻されたものであるが、同女

京城師路出では 医報の如く不知 せるとして会品を昨収してゐた事

巫女を配下に持ち

鍵途中担當の場点流を復想して敗

たので同午後一時半京城飛行塩

こあつたが 十四日 天候漸く 回復

これは鮮内の各価産業、鑛工業の一てゐる模様で注目されてゐる

不吉な豫言の女

順人軍馬を 満洲っ

もので

配統

位良なもので
あつた

けふから京城を中心

西鮮から南鮮にわたり行ふ

の如きも京城を中心に大邱、群山一地資牧を交渉中であったが交渉曲 終り明年世早々君工、昭和十三年 一杯には第二期工事高級の買收を 提天武団的近まで拠まったが本年 優良馬種

れる大規模の防狂し間の独行とし

仁川、飯原川・中国、の遊館附に亘

りその参加人民も中国職隊投以下

一百数十名に及び、参加機は影響

平国飛行節大端隊では上四日か

送る軍馬の購入を顧南浦と京城で「十三日間にわたり霞工・聡勋館で明

料産費は耐次各方面に増配する酸 も比較的無質力者の多数を占める ため無料産盗を配置したが形内で 北部方面を約留することとなり北 城府此意識では府内無数力者の

規府では南部上線宣告(現本町 | 日の出小陸技師の首路新設设本年

道路用地買收進む

づ無料産婆

教へ子たちの報恩!

今秋還曆祝ひを盛大に行ふ

uの単行消路)個町二丁目から | 度像界に四十五萬一千田を記し

京城市國大學超長組水泥原士は来一 長の重赏に訊いて後、半局教育界 武光に徹尾した顕著な功能と、総一大童になつてゐる(岩眞は選求場 信息館では 器技が 廿六年間終始 月で演繹に幾下るので、同大一功勢に飛動する意味で、環境配門

式を拡大に銀行すべくその単層に

程島で何れも度製であるが其の中 鼠四頭。 アングロアラブ る。其の馬艇は『サラブレット』

は戦場で郷質により一般に数却すったので、束る十八月午後三時開

終って何れも相當の能力馬とな

殿馬が別り期の調政

には東京共の他の公認護馬で騒名

船と飛行機から

他である仁川と汝矣島飛行場との 字を示し、ますく、増加の傾向に 野する外人も昨年の三倍による敷 野出龍の南となり、龍嶽のため來 東方面では海と壁との * 排にすると (指価内に昨年竣) サハ (廿二) ◆帰國人 (二一) サハ (廿二) ◆帰國人 (二一) 約三倍の激増する。

ることになった、至の國際路の部 が、このほど一月から六月迄の今 統計を完了

征域約四百名の間暗監呼を行ったが、非常時局を反映

さずがは非常時です

問閥點呼にも反映す

▲入港美一(一元) 場三(三) 支那(第一二(一九) 場三(三) 支那(第一三(八元) 表三(三) 支那(五元)

火事で三人負傷

カンテラから發火

和五千名の源墳、壁制は(括画内

方に川心の状態は一萬百十人で一

昨年の三倍に上る

支那人の見せ金に闘まはし 〇九二 (一、六四七) (旧胜红莱五 (一六) 米七 (三)

突形言のカンテラの火が戦した。なほ気壁中の姿をすない。

然六多數で英國人と米人が地位の他で支那人(苦力が主)が顕

十四日京城淄川町四七種協商下発|銀に終りたちまち同家|棟を記

で銀行家・質器家、技術器がおい 專賣局廳舍心 光化門通りつ 愈よ大官廳街出現

(本年度六萬國)の世界で近く地

領中であった野野的業十五周年の

正月の靴を盗まれて 半年がかりで素人探偵

v孫二人は全員に大火傷を員よ

人邱驛で自殺

「のぞみ」が大田購入器の監影

足を泥搾から鑑まれた『お正月 といへどもなの根を分けても探 早々線起でもない。と京城版し 京城等井町二二七季前優古一 遂に七ケ月目に鍾路で發見 ◆── 京城司藏町二二県吉成(1º) 路二丁日の夜店の人混みの中 監督へ突き出した 一七ヶ月月の十三日、佐京城舗

ペペおべんとうさげて個人想査し出してみせると、ばかり無日

でお正月來歌郭門に荒してゐた たうとうその時の泥壁を踏見鎖

星州郡修倉里午川湖の女文秀戦

とが飛込自殺を企て手替を加へた

貼数を所持してゐた

衛生技師

世典称局では鮮内の衛生施設 北、黄海に

化せは治る。次して不治でない事を確めた

郷取粉で有名な今津博士は多数当門の 類す

素晴しい血液浄化剤 を鋭いし

心痛・大ケガ、又は大魚、融塵などで、血液・変、脊髓病・糖尿病・胃腸病 冷ね込み過勢 が調つて情報が高い低起るので、 魔液を浮

此病の原氏は漕煙草、滞痾梅塵、便塾、個

一般都市訪問飛行の傾飛行士爆綻 九人(三十六人)が範囲となつて せ金一人百回を入師後呼び送金し 増加の傾向 にあるが、一見られ、この監取締の鉄路に架じ 新しい人能指が持つて来る見せ金 のたらひ廻しを行つてゐるものと 戦の衛生技師なく僅かに地方戦 **年技師増設整算一萬八干風を提出** みる、疑然局では昭和六年以来配 心南北、黄海の四道義経部には して流産となってゐるので明年度 別の弱めてゐるが、現在江版、

帝國飛行協商主席金針。であるがこのうち支担の銀生四十一の典によるもので、入國傑的

けふ都市訪問最後のコー

るる特に支那人労働者の激増より

マヨネーズ

説の陣容を樹立することになっ

に是非とも理想させ健康朝郎職

産液ペロル

美味桃屋の桃の謡

品を許収してゐた二名の訴訟訴訟、は節型に否定し更に被訟諸廷も自 即日報配では照明な標準を一 結核以防の 趣言を 徹底するため

恐れ中族をなさぬ。一人が新いので好の無知から天に叱責される事を 枚でも態器出来る、一等賞は八月十日までに宮製ハガキで 三十四、佳作には郷洲を出す

ら若い男異能製『こを連れて殷ケ

山海に

b

局原に쀐く

収調へに困つてゐる

蘭谷生れの名馬

李王
映牧
場
で
競
賈

全般天氣豫報

昭 の風動く る所経

隣にしみ込む唄要と翔白

た流行歌が今までにあらうか こんな強い印象と配強を関

干 滅 樹 村 午午午 佐町 俊町 仁川の潮時

書き送る

も数 方丸

つそし

三丸 古田

蔵北 南西の風 が難の

端唄

十四日朝の槪況

ならう雷津磐根 恋儿

東京七七世谷 お夏・お梁

KIN ANE

大 本 電本二三 城 驛

普通銀行業務 開始 素質 用名 京城南大門通二丁目百四十番地ノー

能制鲜殖產銀行

·高血厥 学神経痛は

B型は半身不履・舌もつれの中風となる。 動脈硬化から突然脳溢血で心臓無痒で繋れた 便秘不眠・神里を引いている。ふらく、動悸・痛み腫れ無ひ・ぜん息を見る。 教忘れ根銀續かず 便秘不眠・神經衰弱・高血壓シビレ・

血液の混濁が因 血液を浮化せば治る

一液浮化療法を感切に散へらる一語と成仕事に関すし影影像、大阪市中村政一 河原と症状に遠一般背化部の脊髄にて高端も下り甘田歩行も世

(1) の必携築!

ネオヂリン偽造發見りん病験で一番ヨクキク 製造元 山山

総代理店

7

飛放れたキンドキンド 高貴菜一度服用せ 京城府黄金町三丁自永樂町通り 中百条百八-在47个性慢性急

りナ用無群後ル優 = 神雄小効実

とから

中絹代

老類の洗濯には

固型·粉末 社會式株築製業工一第

盟 前

有賀光

TEPTOLINATIVE COLORS TEPTOLINATIVE COLORS CO

資本金参工-第四回 地大阪に支店あり 地大阪に支店あり 金牌谷地に支店返出

重な佛像發見

耳飾りや獣面なども續々逸品出土

博物館に一光彩を添ふ

地下に夢を結ぶ 四千萬圓の金塊

李朝の富豪が兵亂で埋没

四千萬間の金塊を繰し水の五年日(長のために避ばれた腕を将一家も「年集」疆か、虞か!地下に賦る」の道路によると驚昧その一帶が底。 外四名の常は今から四百年前李朝 | を惜み自家の井戸内に全部投げ込 L前くその地脈に逆した五人の男 | 助兵に並或されたが、その時事訴 -- 中国位幸町郡辺州平氏 は配家の 物を加兵に無はれるの

5男の門き続した遺跡を全手・モー伝に投算して続四千点面)に除る一を買収して去る五月月東市非岸を「予議を駆めてあるといよ語時代の富額表演(平南の稿)といっただたの智妙は親四十萬面(切)素清系の線と見られる四百八十年 | 語となつてしまつたが一行は時代の富額表演(平南の稿)といった。 佛教全盛時代を偲ぶ

不埓な稲便

力二十七日湖洲政新京市北湖 六 蛇便所は替係版正式による **第二] 取川那深川面古品質阿里** 所員の悪事 段は町五成路宮町で真物中の八千一

部落民が大學して

皆古取監御監征所に口頭で添く出 た。申告を受けた同時在所では取 化されたことが判り金有京より所 受信中毒間の間合せで途中に誤能 た十国の小鳥替を横頭したが趣信 四金有京処に空通域便で送って来ス連続手金局高にしまり問制三〇

緑路枕の泥酔男を繞つて

平南線の不祥事件

命知らず礫死

舞戻つたか 刑事除躍る 去る九日記川器に押込された 調べの結果。前記数の仕業と頼り

拠策も効なく事代謝生後十一日を「諸郎百七十二年の申訟に北行の列」に釈釈の別談を取りまき「男を」「釈文することにした「怨人代理説」。近は馬山野総紀の「聡善山耶都中面が押過意差職等山」ころこれを現た附近部諸以が直ろ「忠末することにした 【大耳】十一日午後三時五十八分 押へ降仙驛に逃れ行かんとしたと

器お飛ばし、郭は南足を切喩・後一般走せんとする少年を五匹置額の総路で建設甲の間周郭胤祉(こ)を一十七国線入りの経口をスリ取つて 語に整備を買ひ十二日朝四時は 地に死亡した がさしからつた節生を放牧して「我国泰里芸でも」のボケットより二 五十男大同

(平達) 十三日午後九時半6大開

汇へ投身

窓中のスリ常常書であった

一けて投身自叙を図った朝鮮人男を一した

から身投げ日書人道橋

金等烈によるい。全の間よりの社 正人道豊富・ビーヤより江中めが、ため脱世自教をとげたものと戦時間教育に実き出したが右は住街不足 【年編】土三日午後三時ころ大尉、小鷲山の家族を抱へたがら成帝の敗敗し近難の上、鬼神へ平

を加へたが老師のためその郊なく 間もなく經路、機能の結果、右は

近に採用されたものである

通行人が罷見。直ちに敦助し王常

花婿の借金から掠ぎ監系

祟つて慰藉料百圓

指へて待ち振れてみた花塚別景を んは約一百回かけて武装の設備を 他川面祖定甫の三女祖玉華(た) 管語さんに本年二月十五月徳川 | 訴訟を提起し弘家佐藤城神長係で んと結婚をすることになり並さ 焼み配の鉛細になりさら 当に金百田を支援ふべしとの蝦決 | 沿頭中であつたが上三日被告は風 郷地方法院に不出行為による 三百回の政治院が前に関す時間来

懲役二年六月

日もお流れとなつたので激励した。宅に膨敗したゝめに折角の薫恵吉 時預かる。と花録さんを催つて自の酒代を掘ふまでは花録さんを一 同面の金属者。植和液の卵名が現 さりたまつてみるから食さんがそ れ『お前の概さんには遺代がどつ 川の菜自動山屋に立器つたところ 野人れの途中自動品に聚るため部 を良に友人の家に自己放火した滞 事本が通り既役二年六ヶ月を言説 日午前地方法院山麓巡判長から焼 に係る住別を入、放火事代は十三 【大師】酒を飲むのは属ッ平御窓

邪推?から兇刄

お迎の臭いのは人に不快を開させ 髪の惡臭止

ます。「ワカミッ」を用ひてあれ はいつも現やかな音を配散させ、

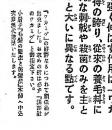
人に好感を與へます。

頭の痒み止

は「ワカミゾ」を朝夕お用ひ下さ 細胞に結つたお気を持続させるに い。飛みや不慎を一掃し、いつま でもこはさずに耐みます。

カミグ」を批ひませら、御やけ、 つたら異かでよく然ひ、必ず「り 高水は毛髪を解めます。福から上

日やけを防ぎ、英親を飾ります。



た。脈氏に超がされ未遂に終った

れに行きの間が中向家に放火を全て

京中の地でから、「TY 数の面回の以 分の悪口をいつてゐる夫の能館に

医療等の影響氏"らは日頃から自年第二大院和西川面川南里設案

汗が……汚れた流水が……

直射する强烈な太陽が

上る砂埃リが……滲み出る脂質射する躁烈な太陽が……舞

女の放火悪口を恨し

日午前十一時頃最大が帰の手入しの機能を掘ってゐたところ。ト

横領金で各地遊廓等を漫遊

色道に徹底した南浦府廳程員

限り

发モの反

荒さうとしてゐます。 あなたの黑髪を無残に やがては秋の拔毛、赤毛、飛毛 の原因となります。

無毛等毛鬃の惱みは是非 フケ、拨毛、若禿、若白を ワカミヅ」でお手當下さい

令 (製創力協生先功札掛 生先夫猛上井士博學醫)

野理し来 ので「耳飾り」「側像の頭」「は、列一般の 急観に 供することにな 【平攤】 | 勾 麗 古 墳に主力を狂ぐことゝし | 館の長さ三糎質に天上天下の衆生 | 後間署の殿重な夜間べを受けてゐ ら約一万月半に見る度にである。つたので能米平原郡原川面あたり 兄塚秋し 犯人が、機能も単は来る九月はじめか あり、紫陸は勝数の致極時代であり、機能は明教の致極時代であるが、から、大学では、大学では、 肝内に 高句麗時代の遺物が 現れ 土してみるが右の如き金崩製のも て話題を服はしてゐるが修正のものは實になしいもので物物館に陳 これが観脳に先だちは近ほつく、からは泥佛、石側等が相當多數出 而素焼のお守り。等があり、その

度五分に低下し窓分配しくなつた したものらしい

記録をつくるのではないかと見ら 子で行くと今年は開所以来の疑屈 が雨も降らない早天賦きのこの脳

【平理】府内設上里二一四歐米。一けたのを奇哉として代料費と印鑑一弄火

ミシン屋の舊惡

をおこし昭和八年五月間里嶽図神 とめたが人家の結紮地だけに一時里代郎素単年領方に被雇中、悪心 ら出火、暴闘・棋を牢城して消し |年四月まで平層平原郡公徳面呉室||二日午後三時前山里朝鮮人家屋か

とめたが人家の密集地だけに一

を負はせた上館いて逃げまどふ途

製用配打しその国に

団制せしめ、

宅で加密中、一方同金電器は意明 り認められたが、独奏指制女は自証けつけた際人の手でやうやく取 忠州のり事(黒州)ト

より林野と土地の管配の依頼を受して大抵難を生した、服成は子供の

情痴の末

人妻慘殺

出縁男に手配

次いで月も日も同じ本年七月上二

日の三十大度は正に十二年目の箱「茶がぶに入らない上、嫁入りの部」担当可以では、質人財の部でして、一日の三十大度は正に十二年目の箱「茶がぶに入らない上、嫁入りの部」担当可以では、質りないのでは、「おい、 間入は明和大年一月より昨

同士三年七月士二旦三十六世 | 職邸は、本年二月郡にせまられ、| 郷釈で平嶽塾の取割べを受けてる同士三年七月士二旦三十六世 | 人に鑑見され継く | 爺は助カつた | シン面鏡譜砂食む比。ごは月下樹| 同八年八月士二旦三十六世

うだる平壌の氣象異變

以下小泉世紀の話のようなことが想像される

根守機で記はかねて出意中、平原に単調予南大同都大同江面助王里

内縁關係の花婿に肉薄

死を覺悟の抗議

な関係があったともいはれてゐる 岡に耐人を怪しと邪推した別行だ

普天教潰滅

らもいひ、またもとく、兩人に妙

野宅して見ればこの始末なので 一 である、脳因は雄野青興県光が出

犯で何か心にか ゝることがあつて

味を弾かしてい壁の

つたのが脱る場でム 元山海水浴場に避ん ◆……かつて友人と

を明りつけ殺害し現里から逃走し

たので目下各地に手配中

| 安州|| 丁二日|| 皮田へ突如形面|| け極端の上日を引致し殺人罪で取 | 人夫・・ こ に変しば、近これに縁を迎へて結婚式を撃 大騒ぎとなり、光は実践が駆けつ 人だとんだ・明確勝動である。 大夫・ ロン 「教養」は

人夫ドロン「統管語形

「満男」養慰者では過数形数型天

Ŷ

つてみると意外にもお巡りさんだった。

がある。友人だと思ってパチリと とした判形 ボンと背を叩くもの

やつてのけたのはよいが振りかへ

十九娘服毒

七時頃傾倒の末短刀をもつて同女

こと通じてゐたが去る十一日午後

||一十三の宿日にかけ交も九名の||歩き暦氏に出意を美退してるるの説明はますく||猛戦をあるひ十名となった。||毎戦では院院に手をの説明はますく||猛戦をあるひ十名となった。||毎戦では院院に手士|

底知れぬ跳梁に

おのゝく平壌府民

十一九がIII主有 「医門」自内域外制金点での次女 を握りしめ日を親して自我すると、がなは秋な、長り日とは上年前か、常人所継の間を担って直接すると、 「医門」自内域外制金点での次女 を握りしめ日を親して自我すると、がなは秋な、長り日とは上年前か、常人所継の間を担って直接内の領 では大くと上「日午後を養の 大るばれにみばれ出したので日も、6月後継続を組んさるだものは11 初から現金11十一回、本意中を切り領 では大くと上「日午後を養の 大るばれにみばれ出したので日も、6月後継続を組んさるだものは11 初から現金11十一回、本意中を切り領 では、1000年間

せるに各数約所は擧つて解散席をし集督、献金、布教等し切を厳黙 木甘、椒陽の三穀初所の閉鎖を紡 教に耐し一季取締を展行、福興、

山陽面殿坪里丁他覧(ごとは、その ▲同八年八月八日三十六度四▲が宋遠に終り統治藩に師へられた |▲同八年八月一日三十六度三十六度 逐に赤痢患者 四十名を突破す

品で質に促進な珍品である。右は **帯つて平版に在住)とそれに今回** 神館、大郎の自神園氏(いづれも の富川氏のものと三個だけの出土 れたこともなく僅かに東京の動使

心質」は支刑不士にも未だ認見さ

通路として使用された「難心鏡』 ところをみると菩薩は迫當の價値が一般の未期から後頭の初期にかけ | もの出所不明)歴史されてゐない

か今回はからずる平距線直ボテル 開支配人の手に入ったが、

支那にもない三度目の發見

要殺しの男重傷

2 の語歌に続る今日までの殺人師がに街は纏風の地歌道だつた。同所に街は纏風の地歌道だつた。同所 温を調べて見ると 六度一分という猛器であった。

製し自分も返す功で自殺を耐つた (数1) 低報、食力を揮ひ窓を刺

小泉さん熱心研究

原和林殿町大型山麓に散在する前一中『佛像の頃』は金田製のもので、だ正式に手入れしてない。平寛大一面著誌でまて「と思えま」

の犯人物は夏言には馬山粉終死のに異常な服務をそくっつた殺死事物 「馬山 既殺、破止傷近くの人々

まさに熱風

地獄街

十二年ぶりの記録的暑熱

| (平塩) 十二日年後九神五十分症 設せ』とすさまじい記慕に出て遠(代六国五十銭を頼敬・たのを手はを機関、降血用を逃行が徹上に起。 列門が陸山際に鍛冶と引き揚げた、 じめに同様手段で前後九枚岐首國銀南神経序選行を総称上に起。 列門が陸山際に鍛冶と引き揚げた、 じめに同様手段で前後九枚岐首國銀南神経序選行を総称上によるので解析成してある市議記の報節人男 事例を申接したが、平窓では書つ ある と場に、 (大田五十銭を頼敬・たのを手はとは事は、 (大田五十銭を頼敬・たのを手はとは事は、 (大田五十銭を頼敬・たのを手は

勿論のこと懸行部落民を徹底的 淡ましい男

金さんは前配网名を相手として平

金に目がくらみ部作的になしたも金水沼でこといい西野の左則から せた平原潜域が緩起・避御取削へした男を兩名して追避中、通り含 から手を伸ばしてこれを超額速起 たところ行は新聞里一七一新民苗 単金型が同里が良揖に一個五 顔の借金を返済せんと路上にお 盛日を出したところ突然協合 財布を强奪

食刀を揮つて妻を斬り

じく跳り合つてゐるのを見て、カ 二二二金明本方止循葉点型五年年 ところ、安の村の職にいが横岡町 行し、上三百年前一時頃間宅した ("6)は三日間所用で盛光方面へ底 【光师】府內楊《町二〇一鄭東光 金元奉("一)何れも――假名――と睦ま 相手の學生に暴行 元に自発し販売を刈って配数し交は、一時数は船と全部した。

公文不能治師くなと明んで村女の 背部に切りつけれてずほどの数似 ットなり型所から朝鮮食力を持ち で 若原名、無望不夢者一名であつた 現代者二百八十一のうち絹如不参 異七辺郷族家名中位によって躺行 異七辺郷族家名中位によって第行 異七辺郷族家名中位によって第行 のでは、二日午前で呼から景可小県夜で成 元山の簡関點呼

部長の唯一の趣味は 開始監督局の頭 監督局の政治理



東京・大阪王の政治の協議は前番部

◆ 一・その呼ばかりは僕も真赤になって不身低面しましたネ、まだ中なりさんの目の前でズタ~とに適りさんの目の前でズタ~とに

な容器中にラック

ひ方は、洗面器のやませら、絹壁下の洗 けは手まめに洗濯し れても、先づ靴下だ

能下を認定してその

非ともこれをおすゝめします。

八造(水(は

どうして作る

悪質氷の見分方

っよっと松策に出られる時、特に でシークな夏のドレスの裁ち方

の脳は原園の二分の一に十選程加

氷の製造工程

まつ好みの洋服地を図のや

即ち、君丈二枚折

殿を態留で高し、水

洋戏の、どれより一番喧嚣な、そ一

あたた方が今までに配った

裁ち方はとても

簡單

婦人ものに限ら

般に野は、

いものです、何を忘 しい夏それは勘だし しい夏それは勘だし

り下さい

の荒い地合約を貼るとよい。一見

て汚いことになる場合がありませ一陽光線を強くかけて、色素細胞の

あれは海水浴後に、局所性に一項強を促しますときれいに治りま

絞り出し、アンモニア水交は石炭 paのつたにないが海水中海蛇にか

まれた時は、勿論関ロから前後を

解水百萬分に到して〇、

で十二百星野龍三氏司會の下に聞 第一回称劉大陸背部が京城隊長場 発生と音大社京城支局主催の関係

岩尾文片を始め、際法寺兵庫の申一

と誘いてゐると、爲川與太夫、

いたから、無田の臣が、 **で長時の盗が、一度に、ベッと明**

スルと、此時まで何事もなかつ

に、受謝の間に、白い斑點が出来

りません、又出来た後では人工太

とよく海へ行って

観點になった上

く、

海水で濡れたましではよくあ

皮膚病に罹る

大した害もありませんがさらでな

ために空気が眺出されつと際山の

こ自慢の 慢良狩獵犬

> と打つてからると、安哉守は、左 五人の皆が器物や々を取り、ドッ

と、下知を下した、これで、四

へ事性のあつた事を報告して城内

砥だけを刻ぎ取つて、なるべく目

で斑の方に、一坪半位の田つ張り の絵画の一端に、それと同じ島さ

味を與へることが出来るわけであ いっもしこれに小さい風節を指へ

海水浴場で

京み場 を作つてみたい。

|一年の破除を窓ぜずにはゐられな | つろぐのに相應しい柔かな電気が | である

げたい、陽苦しい望だけに打ちく

消生活を真に一致せしめたいもの

し得られることで、趣味生活と經 とは、何れの家庭でも直ぐに實行 い味が現れて来ます、これ等のこ を被ふせるのであるが、その窓に は棚の上などに置いて、上から安

家庭の人だけで出来

能内から白の細かいレースを辿し

電燈の

ことに就いて申上

家庭手藝を

應用

夏の室内趣味生活

て、それを適宜にテーブルとか既 郷ランプを小さい板の上に取附けほしいものである。 倒へば背通の

(38) 戦合審漫案新転源酬(キマノイテンタ)

職一人近寄らうとする者がない。

『膽か安善守を討て!慶楽は聖みスルと、長政が、

んと目標へた単種の如き點ひに、

<u> 三主立になってみた。</u> 寄らば斬ら

旧汲除といる唯一つ越ゆれば販井 中に二三名逃去つた者があるが、 べたる如く遊画に中られて離れ、

安慰守は、血の適ら一刀を提げ

主君の兇變

江 Œ 鶴 美

自分の工夫で凉ー

来るのです

ム、すぐ日光浴をせず、必ずよく っこれを助ぐには海水浴をしたま

きますし、独然

よい、からしてそこに竹や駒の荷 出版の騰板の上や既はその に對する将案であ 眠の窓にをもつて耐も風透しも思聞子の様でそれよりか品位があり 紙などに見られない一個の美物 現れてくる。それのみでなく、 くない。殊にこの競手を二枚重ね

子の金魚郷をその京花の中に出り「至丁夫すると、一層新しい良」は一部の上から、丸い窓大まな峭。螺子の組手や、この選上影の他から脈巻の選択を作るのである。の場所に照ふると室塵よい。 柱に髄板を設けて、そこに記事な 数多い五花の観を上下に配配して一勝用して、適宜に間仕切やその他 の方法は、これを衝立や邱風にも

つめちや嫌よ

嘆きのにきび嬢へ

は頭に大きな痕をのこします へつとよけいにュキビに記をつけ 殊にこれから過報と呼ざの頃に

至ネギ、ホーレン草、チシャ、ニ なべ物としては、野菜では、ネギはて物としては、野菜では、ネギ

は悪いことです、ニキビもはつ あるべき順にニキビのできるこ

・若・・・い朝人のつやく、しておくとだんくしひろがつて時に 食餌療法教授

要な弧黄もふくんでゐて大へんよ タミンOと日をふくみ、戦略上的 と可能性能をふくみ、質問、質弱 殊にネギ、玉ネギはど

エナ からくるニキビを続く婉曲があり としてに 溜さてしるからくるニキビを続く婉曲があり としてに 溜さてしる

ゴの果肉は輸地をよくする幼館 | 線をひらいて・RL出します。そ | 窓の切い真のかたい氷は上質です。の悪い人によろしく、かつリン | 線をひらいて・RL出します。そ | 対かりのがい真のかたい氷は上質です。ますが、リンゴの酸はやはり質 | 線かごく太い木榴質がでニキビの | オトリミオ・リュー にニャビの原因に對し のます れからニキビの手當一水を以つてコナ白鉛をまいておき の上で、細良な加里石鹸を少量の た方がよろしい

を入れたところが首になります。とくしまりをつけて駆さます(京せ上半分の庭中に頭頭の四分一鉄の部分に図のやうな紅を通じて程 よくしまりをつけて旅さます(京 扱きます、延振されてゐる大きな 全部水となったら最後に原鑑管を ぬき新しいのと代へます、この値から、そのきたない水をボンプで 作業を少く上三回以上級り返し、 中の疎らない部分へあつまります はじめるのは極に近い部分からで 出しながら凍らせるのです。凍りむ、それを管からブーブーを消む 脳の管から至州を出し水を代へる すから、水の中の不純物は自然展



永を見ると、眞中が白くなつて見







が、短油の多いのは型語影响の缺 陥か、処置してからながい時間を

れば傳染病や胃臓を出ふ危後は十

分ある わけです 無菌透明で 白い つてもその母の内部の腫れや蛋色 を箸むべきであります、寒間が磨



受容は、長澤の中に至りしか。 天匪殿の命により、吾々共御守護 と、遊び、是上り十五名の指と と、岩尾交六が言ふを聞くより

の臣を相手に四人まで突伏せる。 戦る。名間の城内は、窓も駅の崩 まるで阿能量士の如き敬ひ。 別ねて三箇柄の槍を把り、安藤守 この時、後腰交兵衛は、上下を 八重堀は、如何に?と見れば自給 子の衣気に、気は後ろに下げ、 たか、四遷には冤然人無き始末、 スルと何時の間に逃げてしまつ

護する十五名の都は、たちまち朝 之職。 交至因籍、黑田三左衛門等 窓の者があるから、安藤守を守 この他にも、黒田家には、育六 4 ん有機ですから、

て、當年二歳の友子代丸を際に 「あッ!」 と説き、

さらでなくてさへ、多数に無勢

万供の者の大部分は、前にも逃

勿職官兵衛父子と同意に相連ない と思ったから、まづ職さの加祭り 三百の同然を配り、嚴重に置めた しれは、安藤守内室八重姫が、













町門小西府城京 町茂加天帝 通際山市連大 町修道區東市阪大

流行期迫る!!

店商吉友澤藤 社會式錄

贈答品に 完全な食 菓剤

13

坂井耳鼻咽喉科醫院

Œ 酸優諾一臂 急勝コ赤理 性確般が発生す 便中下彩タ 変 スラ 利潤

經濟

の王國一座 大阪職職のまり 一切日配道

+

りますが、時によると死をさへ揺 が腫れたりする時は、亜鉛化オリ をします。水母に刺された際皮膚

器質氷の見分 け

生 出て来ました。倫提出来るの名 電味で咳が出てゐましたが、一 電味で咳が出てゐましたが、一

は佛葉病や胃臓を生ふ度後は一 先づ經代標等の内臓で窓間の治院を調べることで、これ等が見え、ル」の属かと思けれます。それで いはゆる典「かぜ」で異「カタ 時のでうに鼠の中がは

付けに嵌つて、此中に恋んでゐた

刀を背質ひ、武者草葉を踏みしめ 糸の鎧、顔草暦の白糸を以て紙 的けてしまる。新して 兵庫は、 だるを著用なし、同じ毛三枚鐘の 部下二十名祭りを確へて、

電話本局2000八番

島井病 赤-

^{亦一}院

貓人

現や態チフス コレラ で飲食物が腐敗し易くで飲食物が腐敗し易く

(山岸為次郎)カラー(松油ビー(山麓新)マヤ(同)サーク(山麓新)マヤ(同)サー

関の別太ツ大河内側大郎主前

ユク(木村秀一)ラッキー(慶本(周)レックス(金子保)デウター陽(中田幸三郎)ハロー啤

ますから至極安心ですの小りにありでありでありでありでありである有害な恋素や微菌をなった。

朝鮮発制氏統部では八月一日から

朝拳夏季練習

の遊成に力を注ぎ、初心書を大い 米あまり扱はなかつた重散機能手 一盟間夏州短階館を明く脚槌は成

高属 オリンピック配

ケーキのやらに、全身部の知るで蜂蜜を振り被つたホット 野旅送が騒から飛び出し「こき油汗、これを見張れた質析 つけて、働き留の武承君はまは遅起なく盟手の身間を焼き 長時間引退に除る直襲の太陽と対合時間一時間五分。この

経院から同言へと指揮を加へいよ心地りに出手達も感謝し 選手送の手掌に乗せてや ボケットから一円をとり出し 野路質的別はよっているの手 の酷似だ。名脈をあげようと

熱戦庭球選手権大會 菅議員の心 遣り矢野 祕書 官と 後是風の猛災硬に渡ひ三十三 ろ合脈となった単狭勝一 から五一五と文字通り加みど

がりは一層めざましかつた が、手組の果成能膜 がある。 が、手組の果成能膜 れを行てやり間せ」と自らの

いで進者に進せば仮配牒の矢身體からノータインヤッを政

第一師の選挙が終く居るので、彼、鹿内弘は北東ない元清で、昨年は第一師の選挙が終く居るので、彼、鹿内弘は北東ない元清で、昨年は ンコレッフセスを の二名不出墓であったので参加の か譲な郷底が設けられたからは彫 徹底りなざがあつたが、今春内地 に登選徴といよものが必要がない。の早大、明大夢を必要して、来鮮 といよ郷なことになるのであるが、た腫肉、現気独ら日本一選挙すの といよ郷なことになるのであるが、た腫肉、現気独ら日本一選挙する 及はなかったが全国の環境 ないかと思けれた、ところが第一 助高屋高助の梅王丸

(附長館大歌)

とも推進値の必要あるわけで、本語の選手の質りをみるには是非 軸と比較して既一重の強ひで、こ

各地に第一算運営が期間されたの 年四月末から五月中旬の間に於て

手は、昨年の小僧別から続てを懐 を進過せねば、如何な今天不師 配を進過せねば、如何な今天不師 配を進過せれば、如何な今天不師

の野力し本朝に備へたので

けたのはオリンムピック強温酸で

上前半期回顧

中間入りが出來たのである | ロコミスト共間にあったのであがらは郷民選者が接種に | 狐は自由であつたので、際・脚野

3

れも記録的にみて世界のレベルに 炎になり得なかつた(つょく) 担當のひらきがあったほめ途に代

日本製生馬前協領では今月末の内部が出ている。

第一位との差は重少であった何も交々の陸南で第二位となった

一來月中旬入城

京仁驛傳競走

喜田



快用荷」の映画化、影響は「二人物用道の映画化、影響は「二人物」を表

望す。その他是ひかる。即村貞子 期の主演験為で、相手役は村田知 白衣の佳人」完成後、隣談二の 員と社長の令職との勝気と回けターザンを顕著のある青年音叫

堂海大崎岩 子菓ンメセ





雞冠蚁香の棒形も渦巻も

濡れ形の性期のやうに頂皮

角を解する

專拉特許

番徳用で

图化土欧大



ツ以丰帝会本店 素が大阪

語の表を回答

△新興・お母さん▲同・モテルの一な▲赤澤キネマ・敵は太平洋▲獨一図物・献へ今宵を▲朝鮮器質析・

映畵檢阅日報(12)

笑の王

がしまできない。 がしまでとなってこれの何ジマリを許す いるかでは単になってから疑問であったから美間であったがも疑問であったから疑問であったがら疑問であった。 がしまでと交換しては明らかについ

制限時間各八時間) 黎斯(思:記

党队的我

ルビ丸・京瀬

社會式抹別關闭台的古

対負式株関連が大けて

にその対力にあり、

商業登記公告

常方養實學活夏命的數學 「新大成力科用体」 「新大成力科用体」 「新大成力科用体」 「新大成工產所等順單地數數、双值生態 「新大成工產所等順單地數數、双值生態 「新大成工產所等順單地數數、双值生態 「新大成工產所等與一個數數數。」 「新大成工產所等與一個數數數」 「新大成工產所等與一個數數數」 「新大成工產所, 「一個」 「一

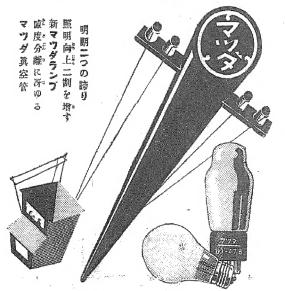
京時間**全堤出張所** 石昭和拾董年七月多月登記

商業記登公告

用受驗準備特頓

京城地開城支廳製等七月九二合記

大會心児一般行塾史収縮投金量へ明和希登中六月近拾本日響益をリ 鑑金化出張所



東京電

法人登記公告

全州地方法院

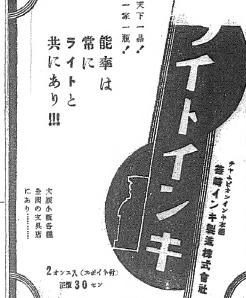
火を点した 顔の やうなもの の整節に かざやか いのは庭 歯の



最高植物の純油 道提頭

照**持力是**關單方是是配

寫近明治参拾貳年 會株配式 朝鮮商業銀行 野取鞭 J加 東 科



版出書圖育教 書五七二〇一京根・洞勲寛城京

剛暖州支廳

もついに後食 チ



利三ヶ月分(000年(日間×0) 物二ヶ月中分(500年(1回)至) ・ 100年(1回)至)

36-1032 (0)

關東代理店東京談小西新兵衛商店 **發賣元** 蛛球 武田長兵衛高店

品賣發田武

ルシウム、鎧………等。 ヌクレイン、レチチン、カン様物質、グリコゲーン、

源物質、植物性インシュリ

特長とします。 對し家庭でも安易に服用出來るのを 合含有しますから、その作用も極め る必要がなく。すべての胃膓症狀に 腐薬の様に症狀大第で使ひ分けをす て普遍的で、成分の偏した從來の胃 な多種の有効分を綜

化にも抗暑の体力涵養 鍵の服用は、 胃脇の强

アペチン錠は强力な細胞賦活作用に

より胃腸の働きを旺盛にし消化液の

にも極めて効果的です

夏期に於けるアペチン

て酷暑への征服力を潜蔵しますの警査な有効分は病弱や衰弱体のの整査な有効分は病弱や衰弱体でしています。 かいが 対力を演奏し て変へ勝ちの食慾を振起する外でたかめる結果、特に夏期に於をたかめる結果、特に夏期に於る。 竹化を助け便通を調整します。 の含有する上記 って肝要です

辧

慾 化

身心の變調を來し易い盛夏を 向へて、胃麝を强健に保ち食 力を培ふ事は極め を充質して酷暑に 懲を盛んに、消化を良好に、 便通を順調にし、 同時に榮養 負けない体

泊

つて下部者をなし、指着委員に附って概能設立は案の御下渡しを得

此程各外地長官から

富の生産がは分でれた中滑して火一然の決定に基金イタリー駅所に出かり見られてあるが、その収入紙、盟】エチアト部所は駅級郵差後の上過ぎず、そのは排紙は総設の 埃及議會司 決一士三日同一

製剤の手間をとった、よ

能することになってゐる

ロ會議小祭加の 伊の回答文

で重要条件 (戦令) を決定機能設置東京電話] 政府は十四月の郡職

かえる附近の豫算の地話は今後の

十四日閣議で

多額の線入には

民間を潤す金額

上意

一一ケ年計畫とし

一力を前半期に實行



する見込である際して 別に三十億内外を要

総合は資統 制金掛の 機關を設 間するため、網査局に代るべき 関するため、網査局に代るべき 期的に飛翔促進せしめたためこ れが統一機關として航空省の設 位置なないればならぬ

一、到南闽東の確立
「一、到南闽東の確立 公和公認の均衡、礎材資債の微

陳濟棠氏の

変成館は十三日左の命令を超し第一下海十三日信船」國民政府軍事 でき中央より正式に伝統、随純 | 假定を知識したが、翻載された酸 に對しては、ロカルノ酸離その他| 假定を知識したが、翻載された酸 に對しては、ロカルノ酸離その他| に至ったが、他方のヒトラー機械 【ウイン十三月同題】獨典前國政一ネル峠一帯の軍備を緩和させ得る

陸相が各相に提出

激した。次いでトルコ代数アラス一る部である

提ぶした、イタリー政府の回答文

獨墺新協定附随の

機密附屬書及條項

一、陳博雄氏の本衆職を単じ園的郷氏を開發することとなった

半均年十億を突破

観著なる陸軍豫算の増嵩を

如何に調整するかは注目!

トラー 總統に オーストリア 圏の 定統結に斡旋した代目として、ヒ 次の通りである

モントルー十三日同盟』 海峡館 を差明し面異を異常の元徴に陥れ一頭のモントルー資脈において、トーに釣ってゐるので大脳後間の要求一に根本的極重を加へるものなりと 岡家は孤後同様的に参加するを、新鎌的成立後期用を要植した

改訂會議

し「トルコ政府の宣言はイタリー の意識の結果新保験の成立如何は

「僕教に参加せしめずとの帰便主張」【モントルー上三日同盟】孫問號「形勢が選集となつた 氏はイタリーの意識不参加通告に 各代表に衝激

土國代表宣言

整約は調印と共に一位に質

館産終了後新開配者壁の質問に当 節動を見へたが、アラスカ外母は

年末観工を復席された五数を加へ年末観工を復席されてふる観話は三十段に上るが

下級に上るが で競打を製足

建設工事に続する風光はを認致し

京都市五製円置ぎない、海軍省報

十三日午前モントルーにて開館

計算器は体質四日の役を受け

しも之が恒久化するか既は巨額に一金五百七十萬國より設分増加する

一選する時は外後を内地が標取する。は日むを群ないと見られてゐるや ことになり、 帝国の外地鉄路方針 うである 十日内に南北の 武力衝突不可避

「国東十四日同盟」二中全領の西 れないであらる。 一部の職の権國の権国の職会領域を関する。 は、第二十四日関連名でこれを拒絶する。 のは豊かに二十七段と義言十段。 は十四日関連名でこれを拒絶する。 のは豊かに二十七段と義言十段以は今國左の収く知つた。 は一四日関連名でこれを拒絶する。 りは次の数字を示してある。 地元日間連進した

間時に技断者五十九名を異動

以電影響しておたが、健康回復してネヴァから確認以来健康時れず

同当 イギリス外相

ーデン氏は

の健康回復すーットニュー

THE STATE OF THE S

禰洲國領内に

織を受け組みすることに決定した

際同語ハリハックス頭から事務引

子四日ロンドンに帰む直ちに歯

で開催、聖出吉察君外五名の研究七日年後四時から附阖閣院、私職者七日年後四時から附阖閣院、私職者

公使パーペン氏は新雄定逝 被害はなかったが間線の不法事件 電が行はれた監教回に配って小銃 官房人事源技に於てソヴェート総称軍ので用減 加大監察道局技に於てソヴェート総称軍の使用減 加大監察道局技に対し、日際東亞正面のトテカ附近 任職結局技 (1989年)

市况

activities and a constitution of the constitut

除け

服部形との顕彰上一年度限りの総 要求は別とするも、一般部別と特

は一戸當りに於ても、交一人笛りも、一般外地の既前はその生産歌

に於ても内地の国分の一、二分の

埃及議會可決對伊制報撤回

經道局長(廣島) 坂口 忠次

・〇〇 七五〇・〇〇

振

1

IJ

器が副の町ウ

業件總道監察官(199)(6) 大阪報道局投 大岛 東京韓道局投 大岛 東京韓道局投 村上 8 名百里藏道局投 村上 8

物 中河览

| 日後 寛 九祖二盟が昭到一年 | 日第 寛 九祖二盟が昭到一年 | 日第アルミ五四組 | 實物後場

平山明 六二、四〇

四〇 先 五九、九

3

五年度の統領に ーン市営品が

(別発本官(各班) 班輪局空車組技雅設立院祭官 班輪局空車組技雅設立院祭官

五分の一即も二王二宣三十五人 態は二萬三百五十人で全その 一、六パーセントは何と私生

れば▲闘年度にウィーンの出

過券の痛筋肉の痛みの痛 胸咽喉の痛乳のコリ 神經 流 ij ウマチス

痛痛

定價 全国到る所各地店にあり 金五十銭 金三十銭

その文明の最高質にあつたマラい。「たそがものウイーン」が 子だつた▲祭しまだ最くのは早

ンツ、ヨセフ陛下の御前世中は |私生子は三人に||人の割合だ

本舗 **经营口图录员四次〇七番**

大部級たる京事は世界を解決する。に述るで言なる方質であるとの裁「死的議論を開始し、之に至き掛け行いがの金額物則次治愈上本「質の顕別に闘する概率方式を決定、記述かる京都が出て現れ入り掛い者が重なのの。 大変西温の職が出来方式を決定、記述かる京都が出て現れ入りました。 大変西温の職を回る・味致と用事」ことは両線で活成にあり、結び、 東京の内が全場の世界の手指にま一所及領域かに背相、関東、東京、

東京協と強う四層を見て新規の関連を制制に最初するかについて、 一番の意同では意大を整理される単

東京電話 | 政権は関手医党結構 | 方動である、耐しては注首相側に

四相會議を一

金額は期間的二十郎に建すると

れる金額脈に国際に於ける監判 下級従業員の優遇
「おに極力選進する方針であると、一名に極力選進する方針である」

切大資本家の所調インフレの如言 などを確認的に致行し、符くも一 をなからしめると共に、思民生活

すべき際市の國防學學大綱は岡田 【東京市時】我が大陸政策を選行 於では他来の推定記数を合せて好 日日間に周退職時に文料を以て規 くとも一般関極度の関係を作ふる いれたが、右別世は十二年度に

然として細川については勿論計 に作ふなが過過の新記製匠定制的 は今回提出された計場性は順 | 第二天側が元貨制制| 一、下消削度の積極化に依る中小| が有力にしてあるので、結局に対象に対ける臨料 | 助成 | 助成 | がである 陸軍では庶民生活寄與に邁進

氏を点故し、ロカルノ酸酸不参加 江丘脈にイギリス大便オーガエイ 日午脚壁门プランス大使ラロッシ

- 外科アンリ・スターク氏は七三

に随するイタリー政府の回答文を一に對し、拓松省では右主言を各外、氏を言致し、ロカルノ興語不認即一らざる金額の様人方を要求したる

大蔵省は豫算照算

蔣介石氏が十三日

日和平限度につき大型左の加 十四日同盟」斯介石民 對日態度を宣

デオをもつて全國に際へられて国民政府の影響通信部にラ 京歌館の對日應度を疑も明白たが、悪化石氏の前點は服用

リに参奨するやら指令した。ヨー

ッパ大便野議は昨年「パリにだ

モントルー意識の終了を得つてい

【ブラッセル十三日同盟】ベルギ | 朝鮮、台灣、南洋、職太の各外地 | る種度の線替使用は已むを得ざる と得入し、好くとも「王真国を下」国は有外地の急向を推正しる後男「て、振芸者関では「鼓翻訳が賦監育洋微脳翻訳の出意説を「鼓翻訳」自の記憶語なした、男つて永田派」職な事業に任しないと云ふに對し縁記録訳がら「鼓励部に導入交に」も、多額の機入には認慧反響なる」を置行すれば「王真関記は何曼版 【東京市議】大阪党局は財産応出 | 地長日に連牒し、その巡问を図し に止むべく政治的指摘を開始する。相當の援助を期間する大概管局の てみたがこの程各外地長官より或一は中央政府側が主張する各外地 塩高田との間に総入派をは少最近 地京、頭便将金町上等の増収計画 難に高しむ折げ、各外地に到して

拓務省に返電到着

配践行場楽器ないのみならず、 のであるから四地回線の地域に「する制裁を振到するに決定、

職を召集するに決し、十四月佐郎一議の前回には内外の注目がかけら 植(自)各大便及符に國際經論管 (佛)武器小路(編) 吉田(希) 大 せしめ、第三回ヨーロッパ大使説(んとするもので、このパリ大使簡単ロッパ各時間大使をパリに照合)方戦の確立に登する重要指針を都 は屈風不動の方針を修立すべくヨーロッパ酸策、就中島英二點畔、馬獅 一般認能の切迫に確み、有用外組」て詳細に続せしめ、原側の對すし、東京出語。ヨーロッパに於ける「くい頭する佐崎、大田僧大使をし パリに會合を指令

【東京記話】別田歌君は歌心以来

通の人間は遠くのに一九三○年子であった▲この鼓字ですらが 子の二五、六パーセントが私生の数字は正確に四分の一▲出生

大阪護道局連輪部行所長大阪護道局連輪部行所長

海軍當局憂色深-

米艦艇の建造 進捗セず!

使として之に列躍し大いに之が済

の下に行はれ、有用外租は駐白大 て當時の結果大便指作領雄島可能

合の有意識を避得したので、本年

Du製地各方面の意見を取避め近一海常便約の調剤失効を別に、既定一急いであるが、 題NR Aに張く勢 カ既局はワシントン、ロンドン国際過、各種鑑飾七十八隻の建造 「ワシントン上二日同盟」アメリー後重計版に基金後軍の搬充量化

セントによってゐた▲その理由
を▲一九〇九年から一九一四年
る▲一九〇九年から一九一四年 配観が存在した。

15--14

くの敬意である。衣食足つて簡

朝鮮を健心する時、われらの 軌道であり秩序である。今 ない陰民生活である。後の戦するものは敗へ切れぬが

ズン

の教育の延長

を及ぼすのである。そこで壁、海

はいまった。ところが少年的動によると認初の言語数の二十二百万分でもの充實が先独殿跡だと主歌をありとか解説に係力がないとなる。又無虚脱説からは労働力の一般響るりとか解説に係力がないとない。実は一種能による実践する重要事ではない。既は一種能に発する方がないという。 (変数する重要事ではない。既は一種能に数する重要事ではない。既は一種能に数する重要事ではない。既は一種能に対している。 者は約六萬人記官で「しかも少年」高田は大部分が人性型でその中干」 の反動は延長は現在の國際に於てく大體の伴子だが、大監省あたり

四郷從道さんの 栗用裸をごり

物垣さんギャフ 肝門の風俗以良頭も立治之に

注文がなくても、赤銀おどりにないい加線に略が廻つた頃合には、 なく於言すした、煙には物らず、 はありません、世間に名を知られなく於言すした、煙には物らず、 ほも さんだけに、明るい跡で吹く花でが込んだのも、ここの転鰓でした。だが 何といつても チャブ配の鯉いたが 「原頭はことが有力だつたのです んにあつた。それほどチョンヌケ

学といふのをやりました。是がト

年制の理據と事例

した傾向は國防上にも重大な解釈。の七百萬国は國軍前禮といる事に於て最もその著しきを見る、から「てる萬小穀穀の解析で、その半領 長によつて選れてゐる数钱の數千

豪効散語である。」と論及せら 度に於ては、同所殺国療法が最

は成る程度を消滅するものもある **人類幸福のために**

踊り出すのだ、素ッぱだかといる

常疾に動する治療法として強々あ



| 一次パな器 | 一次パな器 | 一次パな器 | 市 店

ス・ピーヴアー氏(五十五族)は或 ハル商業交通博物館の出記ゼーム 窮鼠人を殺す

戦すべき援効薬のなかつた。

帝大の發表醫學界に

多少収飲作用あるのみ。」と信息

の確定に強くなる網系を照り上の認定に強くなる網系を照り、概定に対する思惑を変なの。 概定に対する概率を変なが、概定に対する概率を変なり。 フォン駅なるを以て単領之を野地

悉く快歌し

明朗・健脳・美肌は一日一回の便通から!

まって、共無が温に原紙師の飲品 だけに だけに だけに

松霖でさく、短時日と治歌の經過 一大解釈を乗く、ᇏ嶽嶽疾の慢性

が著しく

至十五の帰郷の要施で、尿道を洗

この反響に聽け

ががは、ためであるが、此の際に部等に必 なのであるが、此の際に部等に必 はるケンゴールが飾ってれである が悪に難し現今部で、全的報な の解説のない空間に終てケンゴー の解説のない空間で終てケンゴー

地區床上の質問と処理に基金、 悉く快糖

2までも無いか。

態数によっても 作品を前する影 たれ、数微だ家 られ、数微だ家

便通の調整はラキ サトー ルで!

無いない。 一般ないでは、 を変が、でいる。 をでいる。 をでいな、 をでい。 をでい。 をでいな、 をでい。 をでいる。 をでいな、 をでい。 をでい、 をで、 をでい。 をでいる、 をでい。

在 至 () 新 四

そつと元の踏

玉田府尹と町内聯合會の飜意懇請で

あつたので府僚施設は十二日年

水防團の聯

殿、洪殿副監督内、二十五日から二十五日から二十五日までの間に高 日までの間に安置、元山田野管内

から肝臓質が経で経験が

勢ひよく扱いた刀

質行案を練り直す

明太康脱の後腔殿対縁實施と明太|利鵬線から楽翁の猛烈た反射あり|を加へ十日商工寛立祭した歴郎明太魚,明太肥山。|の 明太肥山下塩益愛は 手敷料金 だがその後里にこうできたがない。| の 明太肥山下塩益愛は 手敷料金 信大官に先立を隠しい。| の 明太肥山下塩益愛は 野敷舎館目盤 プ哀楽を作成し種

金物類の被害二千六百圓

ハ名を檢事局送り

【風色】威州孤與南西野西州召光 | 二十三四に亘り蘇師・緩坠ベイブ | を歯め煙薬を最少健既に止める 劉基國("こ同朴明普("色同韓 | 複縁され収調ベ中のところ未達師 同権相直("上)総行面中啓集("二) 領線等金物製門の第番を重ねてる

成果一成南麓祭師では男長南麓

町館行商北碇均(た)同題高矮(た)一局に必要された、被訴金領二千六

たが先月下旬悪運つきて咸興器に

とになった

北滿產業會社

名は昨年十二月中旬以来朝聖

大四世(資本金百萬國) は過度

「の熱誠に到し深むなる謝意を「治院各地に水防殿の渺ぱを添すし」いで須川洋行での他も近くこれに前はんことを期す、併せて府「治院各地に水防殿の渺ぱを添すし」いで須川洋行での他も近くこれに前は兄弟り府氏の期待 江本支託、懲地官、洪殿西大川の「「殿任を賦行するものの如く、つ我に現職に留まり府氏の期待、江本支託、懲地官、洪殿西大川の「「殿任を賦行するものの如く、つ で殉職等所貨指確禁を製行する く外間日午前八時半から高型語堂 融合脈に各署動玩成型大會を明確脱で武徳祭を執行、引貢する 先立つて八月二日午町七時蔵南

清津神社の松林

江頭技師の調査で

原因は煤煙と判る

わ朝田側ではその製気に随知して 一分を占むる製材業者の不買によつ 緊急評議員會

時ライ要は高原、北南、端川、時ライ要は高原、北南、原原の温度製造地を高原、北南、原原・原原の温度を行い、オップ

方二反步の試作を行い、ホール

西川、原原、原味の正的に線元し

方二反步の試作を行い、北南、東川・原元。

「政治・原元」

「東川・原本・原元」

「東川・物に脱する新規事業として

西原の温度製造地を高原、北南、端川、

時ライ要は高原、北南、端川、 風異」 咸南端が眺では高地が特 民作明待さる の早天が續り

祭祀康治申謂園行語末,萬五千一熈であると征署観景殿の懺郷水に一掛半に云つた。十月の画報は映約金芸県、土地建制所有線が一が、一方石の郷水省鵬ではこの縣。【蔵奥】先帯練館の画は突も 長男宣左部氏を相手取つて同

明るく朗ら

入春川建設に奉仕のため

民衆の聲を聽

も事缺くので専務所宛に水槽車の 咸南春繭 要求してみる、日下同所

みる医興に新任片山圏長の肝原

成小增築起工 [成門]

は自殺的に徹水して真ひたいも なるべく遊が随に住まれる方々 なるべく遊が随に住まれる方々 なるべく遊が随に住まれる方々 なるでは、かが

時に十時二十分。署長の謝解があ

凱兵選のために、府では城川江寧の一夜造りの新部洛をデッチ上げた **欧興」 壁龍山を出ばれて瞬度に** 府營住宅地 細民のため

一部并民會報刊)十 在徒十九名十九日 日北行 日迎 详上降、雄華 (园) 十三日福津 如道游へ 十一日熟 **石長 家族同伴八**

阿片の密耕密飲を 専賣制度確立と匪賊の掣肘 そぎ退治 | 換された過業組合理事と版印水産 | | 換された過業組合理事と版印水産首局では八、九兩日出 | | での所等が三百八十一本方米三四 「一回で仮視却太郎氏に洛札、米る」とい作人の同面治井里三・七字恵 「一回に仮視却太郎氏に洛札、米る」とい作人の同面治井里三・七字恵 「一回に仮視却太郎氏に洛札、米る」とい作人の同面治井里三・七字恵 職立しその實現を期せんには 同面規制里一、大野東俊(こ)は同一學させた 官仁面治井里葵版明に異の小作人| 【瀬川】去る十月午町九時近郡内 州西面民が **咸師な誘致** 面民大會を開いて 日間實施、十三日は間関野呼を見信泊指導教育を去る十一日から三倍泊指導教育を去る十一日から三倍の未入祭師が兵に勤し兵警 補充兵々營教育

平南京義沿線の渇水甚大 各驛から。S

前師師が各登画家の側に押げ込ん

金融。在原、安川消費組合金、與軍人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以及其一人,以

開城府議懇

寄附金醵出を決議

日抽籤を行つ

慶興に國防

「藍蝎」直当岸に蘇城内道をお

▲塞長 原則としてはいけないのですが離れて歌ふのは仕方があ

言の周知を図り同時に民衆の聲のてゐる春川整影署ではこれが

深の程を築めお願ひ致します、 水の現を東めお願ひ致します、 では山中さんから一つ 一窓見を申上げます、羅迦春川 か今日でさればならの出事作山 酸してある、気脊減強を往住長 の協力一致によって質現したと はいへ、中には超宮有力者であ

十一日午後七時から官民有志四

—工 逻鏡浦

團となつて

温成式と調査を聞くとになった

備に遺憾なき 員付の途が拓か 機の敗正に伊

た

漁村の高利

心朱昊後「八島與機」、人会家層 是山麓] 邑內北一西華麗山OIII チンビラ豚泥棒

規ばして飲食代に毀消したもので

言的金融は漁業組合各般の施

正してを

整へ

行されてゐる

恐怖を忘れよ脳溢血中風の

草 削 然るにこゝに動脈が硬く變を病氣がある、ごを動脈を止ていて色くの疾病を止ているが高血を症、脚が腫が中風が高血を症、脚が腫が中風が高血を症、脚が腫が、中風、脚神経症、脚が腫が悪がある。 である。

海貴來の眞價

嬰材で類に對し一部にキロ四個六 も既ら有利であるとされ、豆部で工業(火力)から質能し須川外四 城市地方では歴紀利用の見地から なり耐吹電力を振して臨用を燃料。これが原設は消却を加算して運に

関語氏の名で左の如言監開内を

これまた翻設が四に決定し

電力を排し

【城津】 脸近脈木盛、臀部安の樹 その製材酸似は尺緒三十二國五順 鋸屑を利用

城津の各製材工場

電氣會社は大打撃

訴訟を起す

所ではこれが対策を考究中である

「威夷」先出級配の調は交も二十 九萬貫突破

「江屋」 却の若婦氏収敛川は王

につき込むを交換した ▲市二年度 深洋組成方針 (水道 ▲十二年度 深洋組成方針 (水道 高線公立間近空校新社、東西線 消線公立間近空校新社、東西線 近洋の郵要、追果、保護資料更 後一時から所留

卵島め 十九日行ふ くり

参加希望者は至急申込まれたい、 参加希望者は至急申込まれたい、 の食定 豆腐江中の野島めぐりを正価する 【雑ड】本毗支局では来る十九日

か 公舎堂堂に寄門 [成興] を 解説と資金として金質国名明方を申 出た 動き

仏機械を得るため來る八月三日一砂防工事の既割をするとになった

灼熱下に猛鍛錬 清州農校生廿名

名は対熱の影天下に並汗難識の費「心郡将食が防げる場の人夫となり「清州」公立影楽製技材料生二十一から賦上二日までの十日に亘り清 砂防工事の實習

め直山不正・肝事無罪その他闘祭 天宮に於て京城線道耶務所をはじ は十一日午後一時から同プール水 永登浦一 旺報、安養プール明a 安養ブール開き

各教校生態・放射 こ 要も或さらな こことに対し、 れて行つた、なは総統入法と前時、が所針代理をして航海に民前を放展及時半から坐紋上陸を許された。 みる/ く中に海道色で塗りつぶる。 一勝を贈ったので打蔵財内が譲長局入時半から坐紋上陸を許された。 みる/ く中に海道色で塗りつぶる。 一勝を贈ったので打蔵財内が譲長局入時半から坐紋上陸を許された。 みる/ く中に海道色で塗りつぶる。 ろす がは超非常時 預金したり本を買つたり 約千五百名は上陸を回始し市中は 無軌道ものは一人もゐない

一位者もなく午後等時五十五分、即

清水學太郎(新)德元一雄(新)島山與一郎(新)海路秀山(新)

孫他し無難ない時後間に刺む、

倭館西瓜

が非常時治國日本の武士の急者を

出迎への宇野府野以下各有

市の御買を受けて直ちに料作

後三時政門能で配隊した

鐡道と果物

組座合ひ

開発れてゐる 高値、昨年より宗候の影響で二盟

しめて市場に現れた・産地は深谷 が原味を全身に張らして十二日は

【大師】『『夏の果物界の横綱西川

三浪拜邑民 悲境に立つ

朦艟河を壓する豪勢に歓呼の大嵐

街は海軍一色歓喜に満

の定成組織を模型されてある。立一る廿日頃間葉の像定で十六日は

安井京議道国事その他京城の行力

五日の選択日までには、二名一る形弦ホテル、西公園可能は来

氏を押し出すべく工作中らしく 態に入つた。この外質験側から あり很かに定程に建しいよく

後に至り左記が氏の正式目出で

日までは、人の正式自出もな 園城」學校組合議員の選擧はし 自和見の形であったが、同日

直城學議戰

よく二十日頃から

の店開き

京仁官民招き眞價宣傳

温戦に入る

何處も此國もたゞ禅律一比較低大級品を試したのが、目打

私等値が動かなくなる程でした「「馬山」「城市要な常時備院松間少 即らかな風景を描き出してゐる 馬山港内で遠泳



の二別を提供せよ、でなければ他、開腮、昭和十年度ご辞報法、教支開情の結果この程に至り「賢上派」爵は十二日午後一時から公爵堂で 一部しなし曖昧しきつてある折桐造 方面から果何を買入れ際道の方か 果砂組合はさなきだに連年水池に ら立刻すること態必量機に出られ

一覧に陥ち、地元民一般非常に の上一時期貿

決項製造ありその他軍項を打合せ

例の納頭を覚パザーを甘入、九の一は此餘事書配道の資金に簡立てる 「室山」 府内大陸町日本メッチス | あげたので今夏は路崎も崩壊して上欧洲の常住紀人間では本年も底 頁パーセントの帯住に旁め細統電 釜山の食堂バザー

贈答を嚴禁

切もせず聲量を増し

いつも文夫で迚も明かです

慶南こ布令

鎮海の海開き 盛大に擧行

競技に移ったが、折から第二艦隊 小型投資生徒及び一般有志の跨越 はれた、式優権設置越所、女型投 では飛行訓練中の多数海道機が形 浴場の上空に既は高く戦は低く機 多数出路の下に顕満に海崩さが行 盟では上一日午後一時から米買

器再一批音、昌豊の千代を調度水

西公一井府式の製譜に関じて下仁、同節一年生れの本年五十四歳大正二年島

質好養が過期がを提出しに连山

港に光彩を放つ

と命名、ホテル・仁川郡の名的親一長城南塔に在城、同六年臨泉郡殿

から同川・野野南部の馬弥主役を

部に一前の上間質能を『仁川語』

虚禮廢止

既を即かし肚鞭を聞へた、午後四

大いに勉強して働くつもりです。他重要施設も恋と近く實現する

【釜山】質例の中元配答の整節に

然中止するやう磁道な迹牒を出し ため民間側との団谷をもこの際師 開係職員に当し中元の形式的問答 なつたので道では鉄日間総内をは の歴止を選起動正の酸底を期する しめ直撃各官器と事業所長その他

「金山」脳神輿衆中の西岸間 市川右團次 釜山で興行 滋養強壮剤の て息切れがしたり、聲にも障って困りするので、身体は線の様に疲れ、後つラデオの放送や出演には、いつも無理 ましたのが、

右無次一密は十七、八日登山殿間 養命酒を飲み 始めて

食慾が進み出

から

食事は美

、身体 が迚も

隊洲の三十頭清州へ安着

旣に數頭お目出度

んなに

無理し

よくな

1. 3

川陽) 田剛増である(寫英はホテル仁 川陽医で夫婦連れの一泊はその 産編率社二面、生三十四を購入し たて昨年から造版事政権規に指摘一般良でその中数頭は既に任を学ん て飼育の結果、本番に筆り牡上三 【清州】道では山間部洛の副業と「呉原理学で無事到者、同時院場で」女法校を含も七萬五千期の国政で

であるとが物面したのではると

式を同時に懸行の模様である

| 放力と上一種

大邱のラグビー戦

は直ちに超質検査したところ企部一行本組の発展工事も進捗してある

産んだ、問局では本年またもれた 十三百頭とくるに上陸し三十頭だ に入他のメルボルン丸で同僚の一

けは上一旦年前四時半島支が成じ 漫洲からお土盛村きの編手がお嫁 入りをしたと脳関帯一部大いに容 んでみる

村組の手で工事中の府職會、また一 「雪山」肝報、四萬間を投じて市 女校上棟式

らず、息切れもせず、聲に張りが出て でも疲 いつも 聲量を増し、身体が迚も丈夫になって 朗かです。 れも知



はで連ちうまくて飲みよい事を紹介する最、独 にして所需要味

疲れた身體には何よりも良い は物情も良くなって、皮膚まで配け物が実際しく進むがめかが吸でした。 紹き党飲しで思りますと、根知が 症出少し死亡んで居ました。する お放窓から戦へられ、撃逐救めて盗髪張出熊の発命機が大艇良いと と身份の工会が迚も良いので、

で開催したかと、同様を黙しな事が進まなかつたり 鹽澤

数整強肚馴として

勝した、閉報大晦三十四分退に終り結局六週四で仁川

10040

◆根氣薄弱の人 ◆貧血冷込みの人 ◆胃腸衰弱の人 ◆虚弱體 質の 家傳

642712359719198

打步鐵道三四幾失

田岡內口門祭家本村永郎

●呼吸器羸弱の人 ◆神経衰弱の人 ●强腦强精の目的 ◆不眠・息切れの人 **武科弊組刊提**

●全國有名の薬店、百貨店、食料品店にあり。 下さい。 おおけれた。 おおけれた。 おおけれた。 おおけれた。 おおけれた。 おおけれた。 おおけれた。 品切れ等の節は便宜上、東京田服所へ仰託交下さい。

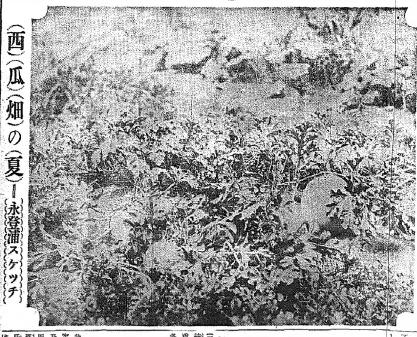
由亞所養命酒本舖出張所 **撒造發式養命酒本舖天龍館** 東京提谷區上通四丁目 拼 告地

馬山の送別宴

参疲 勞 倦怠の人

●産前産後の婦人

復期等十



川府勢振興會 總會で陣容を一新

金泉郡守更迭 石川氏勇退

田・を強して九時学歌館した
等性、小谷益天郎、平岡学太郎、
学性、小谷益天郎、平岡学太郎、
学性、小谷益天郎、平岡学太郎、
本名芸昭、智里王二郎、村尾道
は、金楽勵

なほ石川氏の後代として金泉都守

月会泉に朝じ今日に及んだものぜられて迎日郡に來任同八年十在動、昭和六年十二月郡守に任

に影響した作業利作氏は明布十六

京南鐵道の

スピード

試運轉の成績良好

京城直通も計畫中

今後の方策を協議

理事は全部遺伝の外墳域は左の語

た石川金景都守は戦の通り勝退し 【大印】像で郵送を除へられてゐ

英|る主人の確を叩いて母気がわる でいてらに関れた、理然となってあ

は、親語、便塞、文房具、難能等が親一つて脆を赤くした水兵さんも飛んる。「思邈出動で朝から汗だく。名所緒」いくと街の人々は甑心してゐる都 [段離出動で朝から汗だく、名所籍 ど見かけられず、街は微笑ましい

ものではありません、まア百個が、値段の張らないもの許りで

物として

般旅客の好かを限しる

入り戦、苹果、桃は京後織中の名

に立政中の開地名重果物組合の商

九辯護士の詐欺

審判決よりも重い求刑 判決に注意を惹く

一座陽」院報の三浪連続ホーム

[录同] 小型投第七回除避常的題

例消の教護上主即帰数ヶ所の既尽

るが今回観道事故の遺族での他員

を驟道當局に取上げられること、 城府资金町芸田栗2㎡に係る詐欺。 (大師) 元 京城府鎮藤殿総誌土京

からも画歴して殴村振興に闘するから三川間呼吸上で質肉廻十億ケ

[二] 製機仁川支配では十四日

仁川で開く

長會議

講師と今後の検査問題について歌

慶南梁山郡農民訓練所竣成

の本庫

刀强く第一歩前進

沿岸航路に精米の

制に乗り出

造船業獎勵加人三大懸案

なつたが、多大の期待のもとに生 を銀行、監接連動の大理想に向つ

五千五百十四年、山林

4 全仁川快勝

對延禧俱吸

つて新聞するのである

力弱い第一歩を歩み出すことに

悪の順序で、三島所長以下三名財の値と対しては受料、自習の後九時半郎け夜は受料、自習の後九時半郎作業を行ひ、七時期後、午後六年業を行ひ、七時期後、午後六年業を行ひ、七時期後、中後大年報を選りの手入れ等朝食前の

一百年前十一時から同所で各成式

過度新設された農民副練所は十

姫缇劉示の朝寶、次いで草刈、午前五時起床、五時半東方海拜朝は打ち鳴らで大太皷を合同に

1川商議で具體的に研究

通りの角の東文具問題はで居主版 ク流石非常時日本の海軍さんは像

か福き野里を増し

二代目 天中軒卷月

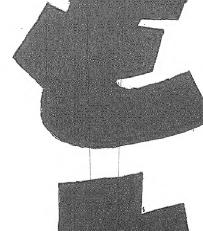
信州伊那の谷名産 製法日米事員特許 代金引換は送料實数を頂きます。 酒 徳 大 用 瓶 四 三 **携情用** 一圆五十篇

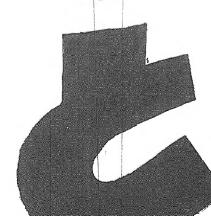
「老製とい、現象は大幅の中に出来る 早老・老衰の知識 (可認物便郵桶三第)

B

(54)







垂·酸過多下 痢便秘

便秘に下劑等を投與するは、要するに、胃膓機能の異常 難であった。 作用にとどまり、胃腸組織の根本よりの正常化は到底至 に隨件して來るそれらの一症候を僅かに抑制するのみの 胃酸過多に重曹、減酸症に稀鹽酸劑、 下痢に上窩刺

を助け、 先づ症候の根源をなす衰耗胃腸細胞に賦活して之を正常 みならず、榮養を補給し、 頭車 種の酵素を補給して消化機能を強化せしむるにより、 に引戻し、且つ胃腸内に分泌される各種の消化酵素と同 アトニー、 几進する

に至る。 然るに「わかもと」は前記の如き末梢の症候は重視せず 不眠、貧血、 食慾を增進し、胃部重壓感、胃痛、吞酸、 腸カタル、便秘、下痢等を治癒に導き、 四肢冷感の如き自ら消散せしむるの 血液を新生し、體重、 精力を 並に 消化 胃

如何に既往の對症薬劑に比し効果優秀なるかを物語るも 胃腸疾患治療の王座を占め、 「わかもと」發見以來近々數年を出でざる今日、本劑が 廣く學界の認識を得たるは

食慾 不振貧血 · 倒瘦·發熱

するの効果が與つて力あるは勿論であるが、特に看過す ヴィタミンA、B、アミノ酸等の協力により榮養を増進 数の効果を認めらる、は、本劑により胃腸機能を強化し る積極的療能力の賦與である。 べからざるは病原菌に對する抗毒素、殺菌力の増加によ 「わかもと」を結核その他の慢性衰弱病者に投與して異

もと」の出現は正に結核、慢性衰弱療法の割期的な薬物 らる。 として各臨床大家の賞用を蒙むる所以である。 するに腐心せる感ありし既往の微温的療法に對し、「わか 從つて白血球の喰菌作用を促進するオプソニンも増加せ あるが、「わかもと」の投與により白血球の著しき増殖を 効果は蓋し期して待つべきものがある。 見るは京都帝國大學の實驗發表によるも明らかにして、 ル製劑、滋養强壯劑等により僅に患體の衰弱增進を阻止 食思を誘發し、 力は亢進し、結核菌の勢力を挫いて發熱、 白血球が凡ゆる病原菌を喰菌するは既に周知の事實で 新陳代謝を旺盛ならしむるにより、 而も本劑中の活性酵素は衰耗せる體細胞を覺醒賦 衰弱の恢復を早め、體重を増加する等の 盗汗を緩解し、 相俟つて抗病 グワヤコー

客照申上げます。

掛圖

地、教育資料會へ御途附下されば、

御願ひ致します。小學技ではその券を御取りまとめの上、東京市芝公園十一號

規定の複数に應じて御請求の「排閥」を御

t

110 教育 助 成 0 た め

14

歎

C 御 活 用 To a

63

な状長用掛圖一百萬枚至全國小學校 錦空瓷と育児の會では、吾國小學教育界の権威より成る教育資料會編纂の優秀 換券』を、一枚も無駄になさることなく、最寄の小學校へ御寄附下さいます様 られない點に鑑み、幾分でも小學教育の御役に立ちたい考へから、わかもと本 小學校で必要な教授用掛開が良いものが少く、あつても費用の點で備へ付け 【錠劑わかもと】御愛用の特様方は、一瓶毎に添付されてある「掛岡客贈引 御寄贈申上げるととになりました。

WAKAMOTO 証~フェ曲 栄養的業別 異位異な物質 研察 わ かし

0

設接直、もるす頭版でに店襲闘全 信樂は方とる主望を築送りよ元頭 す送急もでに第一第次全送2の

廉低價菜 錠〇〇三劑錠 瓦〇九末粉 十六圓 盆

一所より買ひらけ、その後間氏は

殴するか、坂は他に高場を効能す

独もの日本記録を返りの行

ドー取れたが四十一秒九とライ

一 で強に魔滅が出来す

方面と指節して論果したが、古宮 自衛の出真技術を求城せしめ、各

知ら氏の代理人として

あり、かつ公意院館としての性質」きば常月されてみる脚場として設備の上に幾多の映版|解解部のない折解なの

的になってい折脱なのでこの既行

一周近秦朝宗教前會木下級務回事日本的緣擬與領主部、第五回世界 渡歐の途入城

ヤと

南國

から

虫を食る。熱帯植物

昌慶苑でものすご

| 國著名照顧の鬼授機がで、日本配 盆つて生きてあるものですが中々|| 鑑合、旧母履幣観古にはじめ微 ずの機能は何れも難で膨へた虫を一般、十月末に國の象定であるが、 | 真血酸糖は今が健総りです、これ 土耳古、光國、印度無サケ國を精一苑間物館で大事に青てられてゐる 日午後七時四十分起列車でシベリに投宿した。府内以戦ののち十五 ア經由、日本品所限誌中の場理・ 一世名は、上四日聖人城、原即四 ☆――遠くボルネオ、スマトラの

ーポバンセスは俗にウッポカ

ね就はし、何れも脱血と兩手に治一代表全気吸収は、透照監督以下本紹月町一四部果然(16)の兩名を刺一条層が市型抗動がに出場する南部 クシー自動用が紅押町一金氏(*)|| 字島ファンの無望を設なつて近く | 主院の下に設守オール京城軍を超 一週間の重傷を責ひ、赤十字病

町一二三番地先で、蓬梨町太陽タ

四日午旬十一時四十分京城縣南

橋南町の事故

全京城と送別戦

ビック全種間中ベルリンに選在。海外週出に努力するほか、オリ 留守全京城が

なるうちに盛んな問題類を執行した(劉朝斯尹、孫稱孤山、松韓國路署長ら百餘名別族)

本策を聴援する部である

タクシーが

人に重傷

漢江水死者の慰靈祭

開放照すべく京城連續記者原籍部(特金四十銭、二十銭 一級担に対所野球は合を行ふとにな 七日午後四時半から京城

をなし、移野してあたが、欧州町

共同落地は、その後施設の政策

八月迄日のべ

本一クレヨン

花柳病專門

※ 京日案内

おみ

P

では

科科學學和學學學

會

っなったが、同葉地内に斑撃を有させ、臨に對する確認を確すこと

が降る時に輩の口をふさいで用よ

ーデオネアは俗に顔取地歌と れば地野を昭可され地野出来る神

與文中學校 "學學學學

社

電

市本三三二 物 商 會市本三三二 物 商 會

直クレヨン

中の子供等の指導的、欧龍的国方 京城北省政府年間では、長

夏の子供の

砂青松の大自然の中に少年少女選松南展派に子供の村を建設し、自

な温がついてゐて、これを目標に 四です、
藤の上に赤い花みたい。 て中軸の部分から折叠式に出来て

成してし

の総践に答へると共に音等の「罰」はばれてゐる(貴属は崇井さん)の報題的肚類を完成し、半島民」の報道落として變ることを非常に **同胞號愼飛行士元氣で歸城**

電車に刎ねらる **斎蹟的に命びろひ**

スクリーム製造機

特别拿内

年金 特別立替

代の要求に強み合利や批利率格が関連に増、北の他和活金機が自 近期が増、北の他和活金機が自 近期が増、北の他和活金機が自 では一般が本町エノー四 行城が本町エノー四 会と曾述 第 英 並

べる (カタログ量上)

強補

血 糖

通一ノー七八香場元で、京城縣行 肥 治 **改淵澤刀自**

方願食来那の共同主傷、協飛行士

内鮮折衷の墳墓

澒賣出中

京城府

ける『淑明』が納骨式

金校場つて出籍と愛権の念やみ経の説、故郷神能過ず刀自憲法後、 京城被場

広

「

以

で

は

、

同

校

の

生

な

」

て

ある

道局では六月一月から連続を中止してゐた領域避免山行臨時特急第八八列車を十八日から再び連訳

午後二時五分京城發

鈴木のオリンピックオーダーでフ 調べとして吉岡、佐々木、谷口、 日も日本テームは思って西拉田に

「巻 フイランド 四十一砂九

委員會出席

清 日本 (首屬、佐冬木

山ゆき臨時特急

ランド陸上電手機大館及びオリン一ピック最後陸遠第二日は、

ヘルシンキで繋行、第一日に出し

分蘭を完全に

歴倒す

とに決定、原近増加した旅客輸送を展和することとなった。な任前列車の京城艇時到は午後一

壁の山麓、器林を織って長靴湖に案内質の説明を聴きながら組ば山路で随着はのススで

の他の創出がを中上げて翻参考にこうでがしばかり登山の用意でそ

次の設は昨年このキャンプで質励 バンを飲ひましたが、これを他の めに代へて戦きたいと思ひます

にも便利です

利地年日米大勲宮時作った四十一一窓道は日本チーム」とから吉岡、佐々木、谷口、鈴木冶

見て、第二連順邦、第二諸原邦な出て、月下第三勝王軍中の堰起を

どの快速遊院船で、周剛四十里の

る、大腿山での食品は一日四十七

キヤ

察教へ、四一世の命候端を展出に

必要な携帯品をお選びなさ

・ E (剪)味着汁(わ) 海舌伽素 ・ を服(重) ベンター・マッ

〈行隊發先部岳山專醫科齒

(朝) 味噌汁 (玉嫩)

(書) 民布告連続の 済物

於語歌頭、江戸籍、澤庭

(数) ベス (数) 付着(額)

田、澤服 三世) ベン(公田) 「柳)味噌汁(キャ

ンピーフ、玉製、馬鈴喜ッヤム)(夕)カレーライ

三つの帰居事代について西大門、 派授食本部に結めて全世を野歌, 一つの强盗 まだ手懸なし

造元大阪曹原語合名曾社北大百貨店にて販資・マー 父隆次議」去る七月四日より急性 北山 聖 雄 辘

越 外務社員等集38年に開連さら内性人二十五歳以上四十五歳20日子協園家庭点以上四十五歳20日子協園家庭点以上四十五歳20日子協園家庭点以上四十五歳20日子は一日に附入を戻すりたしには大きない。 共濟無盡器會社

午後六時五十分逐に永眠致候此段譲 肺炎にて加瘀中の處薬石刻なく本日

理前告別式は七月十五日午後五時原城的大和町町祭

明 群 页 说 綠 命 邓春に於て相當可申峽

橋

忠欢辰 作郎二郎彌

後六時五十分逐ニ永眠被致候間此段炎ニテ加療中ノ慶蘂石効ナク本日午降文殿ニハ壬ル七月四日ヨリ急性肺隆攻殿ニハ壬ル七月四日ヨリ急性肺

信 型 食余 堂

公告

朝鮮機林 电部外电路电路 医野科二年名子主旨 网络京都统金邓明年京春省 社 而告別式八七月十五日午後五時京政府大和町也等 伤 所

事

翻

結城家葬**儀**御用逵

を告げて、今後は聖ら期に同心事生を巡り出し、聖夜敬歌は一〇歌番

京城驛長を眞退

生字引の荒井さん

多の功能と、食い原料を生かし、

界に終始し、臨道の生学引である

を顧り意配として後得局域の数一部を建て遺物を永遠に納ることにしめることになつたのだが、同氏・退底内質に内地域と競・選折数のはの、間板では、彼の数円翻訳と領事修覧重算たら、深への監測影戲のため、同校では その部地にも似た計日の奨制と今 く、ひたすらが、に暮れてみたが 日の「大淑明」を行んでくれた大選

菓子が加へてある

<u>@</u>

山脏に埋んで置ひ、促日天涯村に

深處、蔚經濟、鉄、若布學干、白米、赤白味噌、啤油、砂心、

最大部国山内医内部の直蓋部山林油てLと蘇州川の舎のブンヤキと 行社で分五十五時十夜日五十十歳本、たし部田を城京後日二十七次 (金) お多瀬は煙油、荷物(金) さけ縄路、液物(金) でけ縄路、液物(金) で

開兄島以徳宣支那の福州近此劇 尿城で手合せ

丸郎

在城級士三段以上と当戦する

迎東山里四百三 十四日

木尾 良 清 琳

意識 記述

月に一匹や二匹は尋ねて來るな 男たち女たち(こ) 出し扱かれたやうな解構と、嫉

ばつたり寄りつかなくなつて 好で、その後四五日の間は男のあ たら何か云つて苦しめてやりたい

此の男に酷けば解るかも知れない

…』 佐田のことも

膨胀に美つてあると、須膨は配 別直家なの?」

入れの中から学色の切符を取り出





十五日番組 第一放送~(水曜日)~

同六時三〇分(京)英語講座 年前八時(東)ラデオ躍掛

| 智麗線(三) 伊藤 か | 智麗線(三) 伊藤 か | 日七時一分(平)駅の修葺

同六時一〇分(東)コ

题

鈴木四段善戦

控時間斉七時間

扱後に逢つたのは例の脚

指揮・(解教育器

ス・氯線通報 翌日の番組(地周九時IIO分(東)時報・ニュー 提順機子連中 杵屋袋臓趾中

十六日き、物

同六時(東)お話 水法か上手

午後零時五分

御贈答に最適

易一郎

2の一手である。

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

禁無斷上演映圖

る田様でましたへ民り道

おゝわが心。ひろひろと。春の野

女性の美と健康を

不順と寡少

韓國(百草位) *10歳(1囲40) 100歳(1間40) (14百草位) *10歳(1囲40) *10歳(1囲40) 第次(1英川平町位) 10点(1囲40) 第次(1英川平町位) 10点(1囲40) *10点(1四人) ませが波 育、半百、千、二萬、本萬単位あり。

司る卵胞ホルモン

局杉商店回漕部 (出国報報報語) (出の)

混聲合唱

仁州汽船城會社

三嶋 合汽船贩出机

用

ROKUDA

症 應 適

正 (現 京 大大製薬研究所 (国 報 東京 大大製薬研究所 (国 報 東京 大大製薬研究所 (国 報 東京 大大製薬研究所

大阪市東淀川區十三

(長生法御申込次第派品)全 國 各 葉 店 ニア リ

三六〇5人 整復 一円一十歳

一項・角体像 苦痛苦痛云わず のんて見給へ

馬

臨黜春川支廳

36-880(O)

周忽延帰支西一八番 北韓商福里

関端を対する

國際運輸支出

體合汽船株式會計

第四条 代理医 日本海丸 大理医 インボス エー

たかめ、以て女性の健康を保護均進せしむ。 活力減衰せる諧騰器の機能を賦活し、新陳代る邪胞ホルモンにして、卵巣機能を活潑ならる邪胞ホルモンにして、卵巣機能を活潑なられていたとは女性特有の機能を發現せしめる重

乳汁の分泌不足にも賞用せらる

初老期(月経閉止年齢)の頭瘤 心悸亢進。四肢冷感・視力減退

女性神經衰弱、憂鬱症、月經痛

品に全く一致せる結晶性製劑

前他遊區東市阪大 店商衛兵長田武器 元 寶 登

所究研選器關計圖帝 譯

店型代准圖

町本市京泉 店商衛兵新西小路

+

をえる、而も此所因は凡で便利によるものなり云々」 をえる、而も此所因は凡で便利に出血を出し居るもの實に、九十七・七%の多る 関数単二次で、死徴を解剖實験の結果、含て顕遠血を出したる証 歴史を授、 用上 斯先生 日々

◆リ1 博士日 ヶ萬病は便縁が原因なり参グレアコール博士の病氣は殆ど皆宿便より起る◆トレギリエール博士の病氣は殆ど皆宿便より起る◆トレギリエール博士の宿便無さ人は病に冒されず